

ガンバル『つくくん』成長プロジェクト

現状と分析

①新津久見高校創立（平成24年度）

- ・白杵商業、海洋科学、旧津久見高校が統合
- ・普通科、工業科、商業科の3科5学級

②志願状況

- ・平成28年度入試で、新設後初めて定員を満たす
- ・市内の中学校卒業生の本校志願割合が50%未満
- ・進学実績の伸び悩みもあり、普通科への志願者が少ない

③本校の現状と取り巻く環境

- ・工業科、商業科→高い就職実績が地域から信頼を獲得
- ・有力な部活動が多く、特に硬式野球部は名門復活を期す
- ・第一中学校区のコミュニティ→近隣小・中学校との身近な関係
- ・一市一校→津久見高校振興協議会等の市のバックアップ体制



「つくくん」(H25)
全国公募で決定

対策

課題

- ・市内中学生の入学者の増加
- ・難関大・国公立大学合格者の増加
- ・就職指導の充実

ゴール

- 市内中学生の50%以上が志願
- 常に10人以上の国公立大学合格者や、就職先満足度100%
- 市の活性化に貢献する地元の誇れる高校

未来地図完成プロジェクト

1. 学力パワーアップ作戦

- 英・数・国の徹底学力向上セミナー
- ・国公立大学突破プロジェクトチーム（1年生から）への特別講座
- ・新聞記事を活用した、思考力・表現力を鍛える小論文セミナー
- 漢検、英検対策講座開設と教員対策チームによる指導

2. 応援団パワーアップ作戦

- 教員チームによる九州大学等難関大合格システムの開発
- 地元中学校教員と協力した指導力向上、生徒学習サポート体制の構築

3. 未来のつくくん応援作戦

- 高校生による小学生の学習サポートや中学生の英検受験サポート
- 中学2年生を専門科の課題研究発表会に招待、津久見の未来を共に考える

高校生「つくみ活性化」プロジェクト

1. 「つくみ蔵」の海外進出(マーケティング活動のグローバル化)

- ・海外の学校と、互いの学校ブランド商品を交換、販売
- ・商品開発のノウハウについて英語を使って情報交換
- ・地域ニーズを活かした、生徒企画の新たな商品開発

2. 県トップの「ロボット相撲」開発チームの中学校出前授業

3. 「つくみの匠」による熟練技術伝承講座

- ・熟練の旋盤工等の技術を学び、伝統的技術を生徒の手で継承

「名門」つくみプロジェクト

- 地元後援会とタッグを組んだ、「名門」野球部の復活
- 有名指導者を招聘しての部活動生の力量UP
- 次代を担う小・中学生の育成を期した大会の開催

